

国土交通省では、海事産業で働く人の「仕事のやりがい」「仕事に関する将来の夢」「休日の過ごし方」など、普段知ることのできない海事産業の現場を様々な角度から紹介する「SEA-GOTO 海のシゴトガイドブック」を作成しました。

QRコードを読み込むと、海と船の情報ポータルサイト「海ココ」にリンクし、詳しいインタビューを読むことができます。また、「海ココ」では、総勢36名のインタビューを読むことができますので、ぜひこちらをご覧ください。

スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!

## 本船の責任者で、会社からも乗組員からも信頼される存在

船長 CAPTAIN

大石 晋也 日本郵船株式会社  
(おおいし しんや)

—業務内容について教えてください。

船長は、会社から任された船を安全に運航し、お客様の荷物を安全にスケジュール通りに運ぶ使命があります。

昨年まで原油タンカーの船長として日本～中東を行き来していました。航路は単純ですが、船舶の集中するシンガポール海峡を通過し、海賊事件の報告があがる、マラッカ海峡、アラビア海を航行するなど、特に気を遣う海域もあります。

航海中は定期的に安全訓練、保安訓練を実施し、船員の安全意識を高め、万が一の場合に備え

ております。原油タンカーの航海で一番気になるのが喫水(きっすい)\*です。積荷満載状態での喫水は20mを超えます。また、シンガポール海峡は潮汐を利用して通過しますので、タイミングが合わなければ、座礁の危険もあり綿密な計画が必要です。全乗組員のチームワークが必要ですので、日々の乗組員の士気をあげる努力は欠かせません。

また原油タンカー (VLCC) を運航する場合は東京タワーの高さと同じくらいの長さがあり、30万トンもの原油を積んだ状態になるため、他の船種よりも操船しにくいので、狭水道や船舶輻輳(ふくそう)海域\*では特に気をつかいますが、なるべくビビリしないように気をつけています。

\*喫水 … 船舶が水上にある時に船体が沈む深さのこと  
\*船舶輻輳海域 … 船舶交通が非常に多い海域のこと

スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!



## 感覚を研ぎ澄まし、不具合から船を守る

—業務内容について教えてください。

日本人の船員が乗船する船の人員配置、船員の人材育成を行っています。

機関長の配乗計画の立案や、若手の教育方針を策定することの他、退職手続き、陸上勤務要員(機関士)の交代計画立案などです。

—機関長時代、仕事のやりがいは?

エンジンや機関に不具合が発生する前に異常の予兆を感知したり、修理や不具合の原因を早急に突き止めたりした時、自分自身のスキルで結果が得られるという実感があることです。

スキルが上がってくると、だんだん勤が良くなってきます。感覚がだんだん研ぎ澄まされていくのか、見たり触ったりすると「何か変だな」ということに気づく時があります。調べてみると

故障する寸前だったりして、壊れる前に気づいて修理すれば船の運航にも影響は出ません。そんな時は非常にやりがいを感じますね。

—仕事上で常に心がけていることはありますか?

自分自身が海上勤務をしていた時のことを思い出しながら、気持ち良く働いてもらうため、可能な限り職員が納得のいく配置や交代を行えるように心がけています。

機関長 ENGINEER

林 伸久 株式会社商船三井  
(はやし のぶひさ)

スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!



スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!



## 船の修繕を通して社会の役に立つ

総合技能職 (船舶修理機関)

SHIPBUILDING

小川 恭典 向島ドック株式会社  
(おがわ きょうすけ)

—業務内容について教えてください。

船のエンジン、プロペラ、クラッチなどの整備をする作業で、具体的には汚れを洗浄して、部品を交換して組み直したりしています。車という車検にあたります。

船には部品がものすごくたくさんあるので、取り換えや紛失がないよう気を配って作業を

行っています。船に行って、部品を外して、工場に持ってきて整備を行い、また船に行って取り付け、といったように工程は多いです。

船の定期検査は5年に一度あるのですが、その定期検査の約1週間の間に必要な整備を行います。

—仕事上で常に心がけていることはありますか?

お客様の次の仕事の日程を崩さずに丁寧に安全に作業することです。そのためにはチームワークが大切です。仕事での人間関係は大切にしています。

## 水先人は「無冠の外交官」

—「水先人」として常に心がけていることはありますか?

担当した船舶の船長に満足していただけるような操船をするよう心がけています。

水先人は、船長の要請によって乗船するアドバイザーですので、たとえ自分が安全だと思っても船長が不安を感じているようであれば、速力を落としたり航行ルートを変更するなどして、船長が不安を感じないような操船をするようにしています。

—「水先人」としての将来の夢は何でしょうか? 一級水先人となり、より深く東京湾について

知っていきたくと思っています。

尊敬する大先輩から「水先人が船長からもらう最高の褒め言葉はExcellentではない。その上にはBeautifulがある。」と教えていただきました。いつかは私も「Beautiful job!」と言いたいだけの日々精進していきたいです。

スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!



二級水先人 PILOT

西川 明那 東京湾水先区水先人会  
(にしかわ あきな)

## 「オペレーター」とは船と陸をつなぐ懸け橋

オペレーター OPERATOR

原 拓輝 川崎汽船株式会社  
(はら ひろき)

—「オペレーター」の業務内容について教えてください。

私の業務は船に積んだお客様の大切な貨物を安全にお届けすることです。どこで何の荷物を積み、どこまで運ぶかという指示や管理を行うのが「オペレーター」の仕事です。

例えば私が担当するお客様は日本国内の電

力会社なのですが、オーストラリアやインドネシアからお客様の火力発電所まで石炭を積んで運んでいます。

—仕事上で常に心がけていることはありますか?

可能な限り現場に足を運び、船を見て関係者と話をするようにしています。机上の業務だけでは、船のことを知ることはできないので、積極的に現場に足を運び、時には船に宿泊して一緒に食事をしたり船内を案内してもらったりして勉強をするようにしています。船は食事もおいしくて、意外と住みこちがいいですよ。

スマホでCHECK!



インタビュー記事の全部が見られる!



column

コラム



## 船員の働き方改革～魅力ある職業に向けての改革～

近年、陸上職業の「働き方改革」として、労働制度の抜本的改革が行われ、働きやすい職場づくりが進められています。

一方、船員は、陸から遠く離れて航海する船舶で働くという特性を有するため、陸上とは異なる労働制度の下で就労しています。将来的に働き手の減少が見込まれる中で、船員の労働環境の改善が進められないと、内航船員という職業が若者に選択されにくくなる可能性があります。

このため、働く人＝内航船員の視点に立った船員のための「働き方改革」について議論が開始されました。海が好き。そんな思いで船乗りを選ぶ人が、より快く働ける場へ。

健全な船内環境で、適正な労働時間で、多様な働き方が可能となるよう、取り組んでいきます。